

オオサキワンダーミュージアム

人と大自然の青空博物館

vol.46 世界農業遺産「大崎耕土」の学習に取り組んでいます

農政企画課世界農業遺産未来戦略室 ☎23-2281

大崎地域(1市4町)の小・中学校や高校などで、世界農業遺産「大崎耕土」を題材に授業が行われています。

古川第一小学校の4年生は、鳴子ダムや岩出山大堰頭首工・内川を見学して、市内の水の流れについて理解を深め、古川第五小学校の5年生は、化女沼ダム・大堰頭首工・居久根の3コースに分かれて課外学習を行い、さまざまな角度から大崎耕土について学びました。

また、実際に「大崎耕土」について学んだ古川黎明中学校や鹿島台商業高等学校などの生徒からは、自分たちが住む地域への興味や関心が深まったという声が聞かれました。

大崎地域の小学3～6年生には、世界農業遺産大崎耕土「副読本」が配布され、授業の中で活用しながら、学習に取り組んでいます。なお、「副読本」の電子版とPDF版を、大崎地域世界農業遺産推進協議会のウェブサイトに掲載していますので、ぜひ読んでみてください。

▶大崎地域世界農業遺産推進協議会ウェブサイト



ちおこらむ 地域おこし協力隊コラム

政策課地方創生担当 ☎23-2129

Vol.10

台湾で大崎市の魅力を伝えてきました！

観光交流課に所属している「ちおこ(地域おこし協力隊)」の陳です。

昨年12月に、台湾の台北で開催された「日本東北遊楽日」に参加し、大崎市をPRしてきました。

1日で8万人以上の来場者でにぎわうこのイベントで、本市の伝統的工芸品の一つである「鳴子こけし」の特徴や由来について説明をしながら、鳴子こけしの絵付けを体験してもらいました。

参加者からは、「実際に、こけしを作っているところを見てみたい」、「鳴子温泉に行ってみよう」との声があり、台湾の皆さんに大崎市の魅力を伝え、本市を訪れるきっかけを提供することができました。

異なる文化を理解した上での旅行は、一層深い味わいがあると思います。

今回は大崎市で台湾の魅力を知ってもらえるイベントを企画しようと考えています。その際はぜひ皆さん参加してください。



▲こけしの絵付け体験をする参加者

市長コラム

天地人

能登半島へ恩返し

4年ぶりに新型コロナウイルスによる行動制限のない、好天に恵まれたお正月を迎えました。しかし、元旦の穏やかな時の流れを一変させる能登半島地震が発生し、恐怖と不安に包まれました。

専門家は、内陸型の地震としては数千年に一回レベルの最大級の地震と評しております。東日本大震災を思い起こされる大惨事です。不幸にして亡くなられた方々に哀悼の誠をささげますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

政府も能登半島地震を「激甚災害」と「特定非常災害」に指定し、全国各地から支援の輪が広がっております。

しかし、支援や救助を阻む課題も山積みとなっております。

被災集落への交通が遮断され、人や物資の目詰まり状況に加えて、ライフラインの寸断、雪や厳寒との闘いなどの困難な状況が続いております。

今後、長期的に被災者支援、インフラやライフラインの復旧、住まいや生活の再建に、行政と関係団体、市民が連携を強め、効果的な取り組みを尽くしていかなければなりません。

13年前の東日本大震災時には、能登地方を含め全国から物心両面のご支援を賜りました。おかげさまで復興もほぼ完遂いたしましたので、今度は被災経験を生かしながら、ご恩返しの出番です。

能登半島は、世界農業遺産認定地としても、仲間同士です。

美しい能登の里山里海の復元のためにも、可能な支援を継続してまいります。

市民皆様のご協力、ご支援をお願いいたします。

大崎市長 伊藤康志

必要な情報を入手してみましょう！

通信料は利用者の負担です。

- 二次元コードを読み取る
- 「追加」を押し、トークに切り替わったら「トーク」を押し
- 利用規約に同意した後に届く「メッセージの入力フォーム」を開く
- 基本情報を入力し、受信したい情報を選択する

受信情報は、リッチメニューの受信設定からいつでも変更ができます。

登録完了！

市が情報を発信したときに選択した情報が届きます。

気になる項目にチェック！

- イベント・講座
- 防災・消防
- 税金・保険
- 観光
- 健診・予防接種

デジタル市役所はじめました！

市では、LINEを活用した「デジタル市役所」を運用し、防災情報やイベント情報など生活に役立つ情報を配信しています。友だち追加をして、活用してください。

デジタル戦略課情報政策担当 ☎5091

みんなでエコっぺ！

～やってみよう「エコ活」～
環境保全課環境保全担当 ☎23-6074

Vol.11 ～プラごみ変革！～

今年の4月から「プラ」マークのあるプラスチック製容器包装に加えて、「プラ」マークの付いていないプラスチック製品も資源物として収集いたします。プラスチック素材100パーセントのもので、一辺の長さが50センチメートル未満の汚れていないものに限り、プラスチック専用袋に入れて資源物回収日に出すことができます。

海洋プラスチックごみや気候変動の影響によって、さまざまな問題に直面する中、資源循環の重要性が高まっています。プラスチックを資源回収することで新たな製品として生まれ変わり、ごみの削減につながります。今後、さらにごみの分別に努めていきましょう！



プラスチック製品の分別をしましょう！

広報おおさき2月号 2024 No.215

Main Contents

目次

- 02 未来へつなぐ陸羽東線！
- 08 令和6年二十歳の集い
- 10 大崎市総合計画 市民意識調査の結果報告
- 12 あなたの骨は、大丈夫？
- 13 OSAKI Culture
- 14 オオサキプレイガイド
- 15 暮らしの情報
新型コロナワクチン接種のお知らせ ほか
- 24 子育て支援情報 ほか
- 26 相談コーナー
- 27 休日救急当番医 ほか
- 28 新年の幕開けを祝いました